

2018年12月5日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

ラグビーワールドカップ2019まで1年。日本ラグビーのレジェンドを振り返る 笹川スポーツ財団 スペシャルサイト『スポーツ歴史の検証』

第77回 森 重隆 氏

(新日鐵釜石ラグビー部の黄金期を築き、日本代表としても27キャップを獲得した名センター)

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団(所在地:東京都港区赤坂 理事長:渡邊一利 以下:SSF)は、日本のスポーツの歴史を築かれてきた方々にお話を伺い、スポーツの価値や意義を検証、あるべきスポーツの未来について考えるスペシャルサイト「スポーツ歴史の検証」を連載しております。ラグビーワールドカップ2019を来年に控えた本年度は日本のラグビーを支えてきた人びとをテーマにお送りします。

今回ご登場いただいたのは、新日鐵釜石ラグビー部で4連覇をはたし、現役引退後は母校の福岡高校の監督を22年間務めるなど、指導者としてもラグビーに情熱を注いだ森 重隆氏。現役時代のお話から、指導者としてのあり方、そしてラグビーW杯2019への期待などを伺いました。

インタビュアーには産経新聞特別記者兼論説委員の佐野慎輔氏をお迎えし、意義深いお話を引き出していただきました。SSFウェブサイトでの公開詳細は以下のとおりです。ぜひともご覧ください。

『見直すべき指導者として必要な要素』

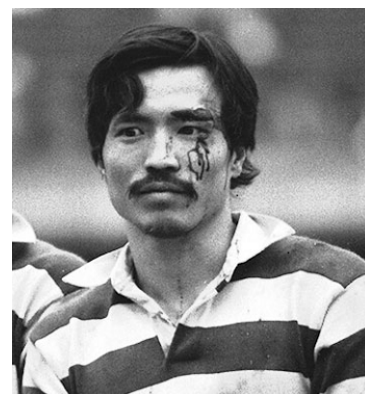
森 重隆 氏

【公開日時】2018年12月5日(水)10:00 一斉公開

【URL】<http://www.ssf.or.jp/ssf/tabid/813/pdId/274/Default.aspx>

スポーツ歴史の検証 で検索ください!

【主な内容】忘れられない初めての花園ラグビー場での感動／「打倒早稲田」に燃えた大学時代／コミュニケーションと練習で築いた釜石の黄金時代／ラグビー文化の本場NZ遠征の意義 ほか



《プロフィール》

森 重隆 (もり しげたか) 氏

1951年生まれ。福岡高校ラグビー部、明治大学ラグビー部を経て新日鐵釜石ラグビー部に入部し、日本選手権4連覇。日本代表として通算27キャップを獲得。現役引退後は母校・福岡高校で監督を22年務め、2015年に九州ラグビーフットボール協会会長、日本ラグビーフットボール協会副会長に就任。

佐野 慎輔 (さの しんすけ) 氏

1954年生まれ。産業経済新聞社特別記者兼論説委員、SSF理事。スポーツ記者を30年以上経験し、日本オリンピックアカデミー理事、野球殿堂競技者表彰委員を務める。

＜スポーツ歴史の検証＞概要

【企画制作】公益財団法人 笹川スポーツ財団

【後援】スポーツ庁、東京都、公益財団法人日本スポーツ協会、
公益財団法人日本オリンピック委員会ほか

【特別協力】株式会社アシックス

この件に関するお問合せ先
笹川スポーツ財団 経営企画グループ：古坂 (ふるさか)
TEL: 03-6229-5300 info@ssf.or.jp